



永田円了
Enryo Nagata

朝まじらへ
Light Peaking Into Life

人間死んだら どうなるのか

人はどうして人前で緊張するのか、人はなぜ肩書に固執するのか、
人生の伴侶を選ぶ基準とは？ 富山藩主前田公の廟所・曹洞宗真国寺
十九代住職が折に触れて綴った掌篇 73。

文藝春秋企画出版部 / 文藝春秋 定価1500円(本体1364円+税10%)



ISBN978-4-16-009016-3
C0095 ¥1364E



定価(本体1364円+税)

発行 / 文藝春秋企画出版部
発売 / 文藝春秋



鬱蒼とした杉の木々におおわれた墓地、夕闇が訪れると、
森の精霊たちと墳墓たちの闇の饗宴がはじまる。四千の
墳墓が精気を取り戻し、我先にと得意な昔話を始める。
時代を束ねた、いにしへのエネルギーが充満し、墓地は
闇のなかで自分を取り戻す。そして日の出と共に、何もな
かったかのように朝をひらく。